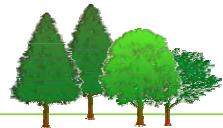


4 森づくりの方向性



「3 あきる野市が目指す森づくりの姿」で示した基本方針 1により、いずれの森においても、森の多面的機能を高める“環境の森づくり”を進めることを基本とします。

なお、多様な森が存在するあきる野市では、それぞれの森や地域の特性が場所（地区）により大きく異なることから、森づくりの方向性を「類型別」、「地区別」の2つの視点から定めました。

(1) 森づくりの基本的な視点～環境の森づくり～

森づくりを進めるに当たっては、それぞれの森の特性を活かし、将来にわたってどのように利活用していくかを考慮していくことが必要です。しかし、利活用のみを考えた森づくりでは、その森の機能を十分に発揮できない可能性があります。

そこで、あきる野市では、それぞれの森の特性を活かす機能を高めつつ、他の多面的機能の向上も図る“環境の森づくり”を行います。例えば、木材生産を中心とする『経済の森』であっても、多面的機能のひとつである物質生産機能だけを向上させるのではなく、水源かん養機能や防災機能、生物多様性保全機能、景観形成機能なども同時に高めていけるような施業を行います。それによって高まった機能を他の目的にも活かしていき、利活用の幅を広げます。

このような“環境の森づくり”によって、ひとつの森からひとつの恵みを得るのではなく、あきる野市全体の森から多様な恵みを得ることができます。そして、その多様な恵みを得ることができる森こそが、あきる野市が目指す「郷土の恵みの森」なのです。

「郷土の恵みの森」の実現

特長的機能の向上を図る “類型別森づくり”

清流
の森

経済
の森

郷土教育
の森

歴史文化
の森

健康
の森

観光
の森

特長的機能の向上→多様な森の恵みを生み出す

森の特性に応じた
森づくりの方向性
対象: それぞれの森

森の多面的機能の向上を図る “環境の森づくり”

水源かん養、生物多様性保全、地球温暖化緩和、大気浄化・気候緩和、災害防止
土壤保全、快適環境形成、木材等物質生産、伝統文化等形成、保養・療養・レクリエーション、郷土教育、景観・風致形成*、化石燃料代替エネルギーなど

森の多面的機能の向上→豊かな森の恵みを生み出す

森づくりの
基本的な方向性
対象: すべての森

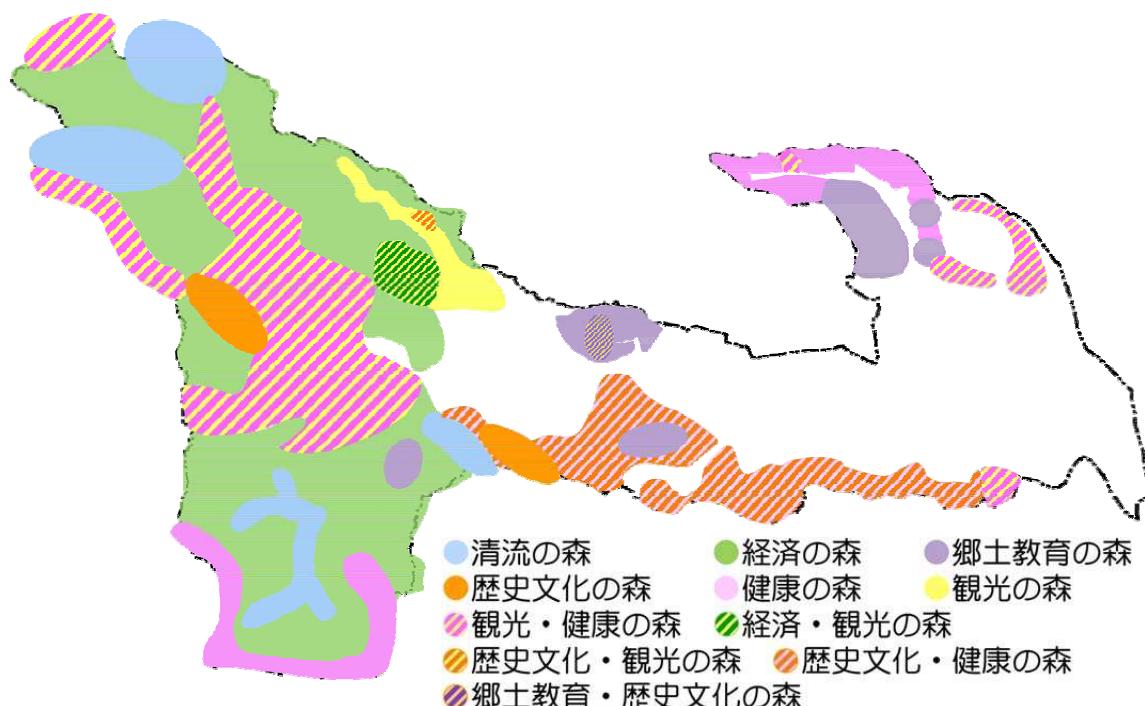
(2) 類型別森づくりの方向性

① 森の類型区分

森の特性や森が与えてくれる恵みの種類、森の資源、利用状況、地域の意向などから、『清流の森』、『経済の森』、『郷土教育の森』、『歴史文化の森』、『健康の森』、『観光の森』という6つの類型を設定しました。なお、森の特性によっては『観光・健康の森』のように複数の類型に該当する森もあります。

それぞれの森の特長及び位置は、次のとおりです。

清流の森	豊かな緑と水に恵まれ、現状でも森の持つ水源かん養機能などが十分に発揮されているとともに、様々な動植物が生息・生育していると考えられ、将来にわたって現在の姿を守り伝えたい環境が存在する森
経済の森	スギ・ヒノキの人工林を中心の林相で、現在経済林として管理されている森や林産物が生産されている森、また、今は手入れがされていないが今後木材生産を行っていく森
郷土教育の森	人々の暮らしと結びつきが深かった森（里山）で、人が入りやすく、炭焼きや落ち葉かき、山野草を用いた郷土料理などの「森の恵み」を暮らしに活かす知恵や技を伝えられるフィールド・拠点がある森
歴史文化の森	歴史が古く著名な文化財がある寺院や地域に根ざした神社、それらを囲む鎮守の社（森）、城跡、遺跡、古い街道など、地域の歴史や文化を伝える資源が周辺に多く存在する森、昔話などが残る森
健康の森	散策やハイキング、登山をはじめ、山岳耐久レース*、ロッククライミングなど、健康づくりやレクリエーションのほか、趣味、スポーツなどにも利用できる森
観光の森	キャンプ場、釣り場などのレジャー施設、季節の花の名所や特長的な自然景観などの見どころがあり、宿泊施設や飲食店が充実しているなど、観光客を受け入れることが可能な森



② 類型別の森の将来イメージ

●清流の森

豊かな緑と水に恵まれた良好な環境がみんなの力で守られ、清流のせせらぎを聞きながら、自然の心地よさを感じることができる。

また、自然環境について学んだり研究したりするフィールドとしても利用できる。



●経済の森

計画的な施業により、適度に間伐されたまっすぐで太い木が育ち、木材生産で十分な収益を得ている。

また、企業の森やカーボン・オフセットなど多様な手法により、管理を行う人材や資金が確保されている。



●郷土教育の森

人と森とがかかわる中で培われてきた技や暮らしの知恵を、体験を通して学びながら、世代間交流を深め、地域や森への愛着を育んでいる。

多様な動植物と身近にふれあい、観察会や自然体験学習なども行われている。



森林の将来像

により多面的機能が高められ、豊かな「森の恵み」を得ている

●歴史文化の森

森の美しさや厳かな雰囲気を感じながら、寺社やその周辺の鎮守の社、史跡・文化財等を巡り、歴史や文化を感じたり学んだりすることができる。

語り部（案内人）の話を聞いたり、古道を散策するなど、様々なかたちで歴史・文化にふれることができる。



●健康の森

市民が気軽に散策できる癒しの空間で、森林セラピーなどにも利用されている。ハイキングコースや登山コースなども充実しており、子どもからお年寄りまで様々な人が、健康づくりやクリエーションなど、用途に応じて利用している。



●観光の森

年間を通して多くの観光客が訪れて、四季折々の花々や風景を楽しみながら、自然のすばらしさや森の美しさを体感している。

地域住民も参加して多様な体験イベントや催しなどが開催され、森への関心も高まっている。

